

グローバルCOEでは、国際的に通用する人材を育成するために、各ラボや研究発表の場での英語化に取り組んできました。特にリエゾンラボは、コミュニケーションをとる場でもあり若手研究者にとっては、毎回刺激のある場だったのではないのでしょうか。この経験をそれぞれのキャリアアップにつなげてもらいたと思います。またサマー・リトリート・セミナーや国際事業も展開し、さまざまな研究者や研究機関と友好的な関係を築くこともできました。この5年間で培った成果を今後の人材育成につなげ、新たな取り組みへチャレンジしていきたいです。

発生医学研究所
多能性幹細胞分野

Shoen Kume
桑 昭苑



Mitsuyoshi Nakao
中尾 光善

発生医学研究所
細胞医学分野

Researcher is...
人と自然と社会に対して、科学的に向き合う感性と行動力を有する人。

21世紀COEに国際性を拡充したグローバルCOEプログラムを通して、熊本大学で唯一の附置研究所になり、文部科学省の全国共同研究拠点に認定されました。発生・再建医学の研究教育、リエゾンラボ体制、学内および国内外の連携交流など、これまでのCOE活動を活かして、新たな取り組みが始まります。“新しく創造されるもの”がグローバルCOEの真の成果といえます。

世界をリードする
細胞系譜制御の
研究者たち。

リエゾンラボを柱に、若手研究者の海外派遣、海外若手研究者の招聘事業などを積極的に進めてきたグローバルCOEプログラム。世界をリードする人材育成プログラムを実施してきた「細胞系譜制御研究の国際的人材育成ユニット」の5年間を振り返ります。

Researcher is...
研究者としての醍醐味とは、常にわくわくして、新しい現象を見つけられることです。そのためには、観察力を付けることが大事ですが、何が分かって何が分かっていないのか、を知ることも大切です。

若手研究者の皆さんは、この5年間に、論理的に思考したり英語でプレゼンテーションしたりする多くの機会に恵まれ、その力を身に付けることができたと思います。今後はさらに一歩進んで、独力で研究を切り開いていくことを望みます。

Researcher is...
研究者に必要なことは独創性です。人と違うことを恐れないうこと、失敗を恐れないうこと。

発生医学研究所
腎臓発生分野

西中村 隆一
Ryuichi Nishinakamura



Tetsuya Taga
田賀 哲也

Researcher is...
駆け出しの頃は、“研究は芸術”という哲学の下、高いオリジナリティー、精緻な技巧、感銘を伝える自己表現を心掛けながら、夢を追いつつ夢を与えることができたらと思いつつも、現実日々反省で取り組んできました。今もその延長にありますが、画一的な研究者像というよりは、型破りな人もいればオーソドックスな人もいるという多様な研究者像が許容されることが大事な、と思います。

若い世代には未知の分野を切り開く挑戦的なパッション(情熱)が潜在的にあると思っていますし、そのように期待しています。そのため私たち教授世代は、若手研究者のパッションの高揚をもたらす環境整備と、相互に影響し高め合う場を整えることが重要と考えました。同時に、世界に通じる共同研究構築力やその実施スキル、あるいはディスカッション能力を高めるために、共通機器の整備・共用化を含むリエゾンラボのシステム拡充と、リエゾンラボを主体とした英語でのセミナーやディベート、英文による研究提案などを通じた若手の応援事業の実施に力を注ぎました。

大学院先導機構/
東京医科歯科大学難治疾患研究所

田賀 哲也



生命科学研究所
遺伝子機能応用学分野

甲斐 広文

Hirofumi Kai

Researcher is...
教科書の新たな1ページを作っていく姿勢を常に持ち続けられる人が真の研究者だと思います。

今は昔と違って、情報が簡単に手に入る時代です。だからこそ、研究にオリジナリティーを出すためにはより一層の工夫と努力が求められます。そのためには広い視野をもって考える力や、多くの研究者と交流を持って情報を活用する能力を身に付けることも重要です。若手研究者には、自分の可能性を小さくとどめるのではなく、常に世の中の動向に目を向けて大きく展開していったほしいです。

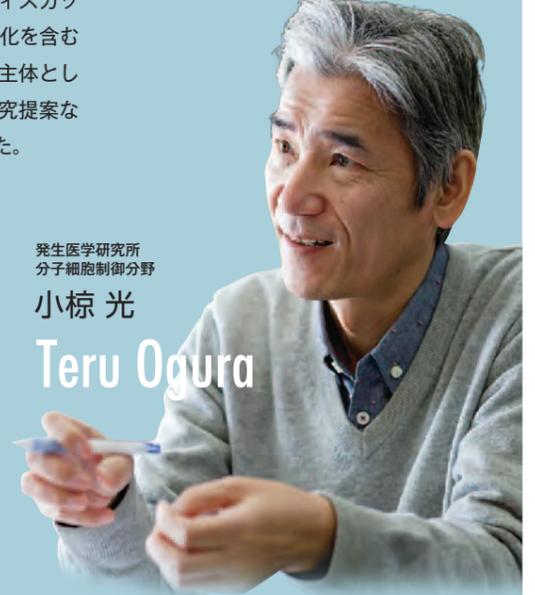
生命資源研究・支援センター
疾患モデル分野

山村 研一

Kenichi Yamamura



Researcher is...
研究者とは自分でテーマを設定し、仮説を立て、データを出してそれを解釈する人。そこに、自分にしかない個性がある人のことです。



発生医学研究所
分子細胞制御分野

小椋 光

Teru Ogura

Researcher is...
研究、発表のレベルは全体的に上がってきていると思います。世界で通用する研究者になるためには、自分にしかないもの、個性をどう出すかが重要です。どのような仮説を立て、どの点に着目するか、そしてどうアプローチして解明していくのか、それを選ぶのは自分です。自分にしかないもの、自分にしかできないことを考え、実践してもらいたいですね。

Researcher is...
研究者に必要なことは、一つのことをしつこくやっていくということ。自分の思考を大事に持ちながらも、ものごとの背景から本質をしっかりと捉える力を持つことが大切です。

若手研究者には、理念・戦略を持って研究に取り組み、長い人生の中で出てくるたくさんの選択肢に迷った時は困難な方を選んでほしい。そして、「流行は追わずオリジナリティーを見つけ、世界のどこでも生きられるような個性・特技を持ちなさい」という言葉を贈ります。